

本日の流れ

時間	プログラム
13:00 – 13:40	施設系データ集約WG
13:40 – 13:45	休憩
13:45 – 14:45	防災データWG
14:45 – 15:00	休憩
15:00 – 15:55	エリア連携WG
15:55 – 16:00	クロージング

プログラムが前倒して終了しても開始時間の繰り上げは行いません。

開会の挨拶

東京都 デジタルサービス局 データ利活用担当部長
若井 太郎

東京データプラットフォーム協議会 第6回施設系データ集約WG

事務局資料

令和4年9月16日

令和4年度 第6回施設系データ集約WG アジェンダ

○令和4年9月16日（金曜日） 13時00分～13時40分 WEB開催

- 1. 第5回施設系データ集約WG振り返り**
- 2. 各取組課題に対する検討状況**
- 3. ケーススタディ事業の検討内容の共有**
- 4. 協力依頼と今後の進め方**

施設系データ集約WG活動の全体像

昨年度は、データ集約モデルケースの確立に向けた検討を実施
今年度は、データ集約モデルケースの確立や、他エリア・施設へモデル拡大を目指す

施設系データ集約WGのロードマップ

令和3年度

データ集約
モデルケース検討
(西新宿エリア・
トイレ施設)

施設ID等
混雑WGでの
検討

令和4年度

検証・課題対応
を通じた
モデルケース確立
(施設ID等
も検討)

他エリア・施
設へモデル展
開準備

令和5年度以降

他エリア・施設
へモデル拡大

各エリアマネや
大規模事業者等
と連携
都内主要エリア
に取組を展開

モデルケースとは

データ集約に必要な、データ収集方法や
データフォーマット、ルール、プロセス等の事例
のこと

事例化する対象

**データ収集
の方法**

(既存データベース等の
取り込み、新たなデータ
収集)

データフォーマット

(政府CIO等が検討し
たものを基に実装)

など

今年度は、令和3年度までの取組経緯を踏まえ、
トイレ施設を題材にモデルケース確立を目指す

今年度の 活動方針

施設系データ集約のモデルケース確立と、 他エリア・他施設への展開に向けた検討を実施

令和3年度の実績（振り返り）

- ・ **西新宿エリア、来訪者向けトイレ施設を対象としたデータ集約のモデルケースづくりを開始**
 - ・ データフォーマット案について検討を進めることができた。
 - ・ アイデアソンを通じて、トイレデータの具体的な活用方法や、データの維持・更新に対する行政の後押し的重要性等が議論された
 - ・ 東京文化会館と東京芸術劇場のバリアフリートイレを対象にした実証を実施

得たこと

令和4年度の実績計画

- 活動① **課題検証を通じたモデルケース確立**
 - ・ 効率的なデータ収集・更新手法の検討
 - ・ 施設IDなどのフォーマットの整備の推進
- 活動② **他エリア・他施設への展開に向けた準備**
 - ・ 候補となるエリア、施設の検討

活動イメージ

今年度の取組内容(案)

活動①、活動②それぞれについて以下の取組をWGにて議論する予定

活動① 課題検証を通じたモデルケース確立

A

データ収集手法の 検討

- データ収集に係る負担を軽減し、提供者の協力を得やすくするための収集手法について検討を行う

B

データフォーマットの アップデート

- 施設IDなど、データフォーマットの検討を更に推進する

E

継続的な取組とするための検討

- データ提供者にどのようなベネフィットがあれば自発的なデータ提供に繋がるのか検討を行う
- データ提供、データ編集、データ登録及びデータクオリティの確認などの取組主体の明確化

活動② 他エリア・他施設への展開に向けた準備

C

データ利用者の ニーズの洗い出し

- データ利用者の視点で、モチベーションやニーズの洗い出しを行い、他エリアや、他施設展開の候補検討に繋げる

D

必要となる データ項目の検討

- 必要となるデータ項目の有無について検討を行う

令和4年度 第6回施設系データ集約WG アジェンダ

1. 第5回施設系データ集約WG振り返り
2. 各取組課題に対する検討状況
3. ケーススタディ事業の検討内容の共有
4. 協力依頼と今後の進め方

今年度の想定アウトプット

施設系データ集約の仕組み化の準備に資するアウトプットを創出

活動① 課題検証を通じたモデルケース確立の想定アウトプット

- A** データ収集手法の検討 **B** データフォーマットのアップデート

アウトプット①

データ収集を実現する
為のシステム機能や
運用プロセス、
ルール等のあるべき姿

アウトプット②

更新された
トイレデータフォーマット
(データの授受や
データ保存に活用)

- E** 継続的な取組とするための検討

アウトプット⑤

本WG協力企業へのヒアリング等を通じた、
継続的な取組へ向けた課題の把握

活動② 他エリア・他施設への展開に向けた準備の想定アウトプット

- C** データ利用者のニーズの洗い出し **D** 必要となるデータ項目の検討

アウトプット③

他エリア・他施設
の条件

アウトプット④

他エリア・他施設の
データ項目の考え方

データ収集・集約機能の連携基盤への実装、
運用体制の具体化へ

施設系データの拡充を通じ、
民間事業者等によるサービス実装へ

取組における課題と対応策

課題と対応策

活動① 課題検証を通じた モデルケース確立

A

データ収集手法
の検討

B

データフォーマットの
アップデート

活動② 他エリア・他施設 への展開に向けた 準備

C

データ利用者の
ニーズの洗い出し

D

必要となる
データ項目の検討

- 昨年度のデータ収集経験から、紙・図面等の非構造化データであったり、事業者間でフォーマットが多様であるなどのいくつかの課題を把握
- **効率的にデータを収集する手法（仕組み化）が必須**

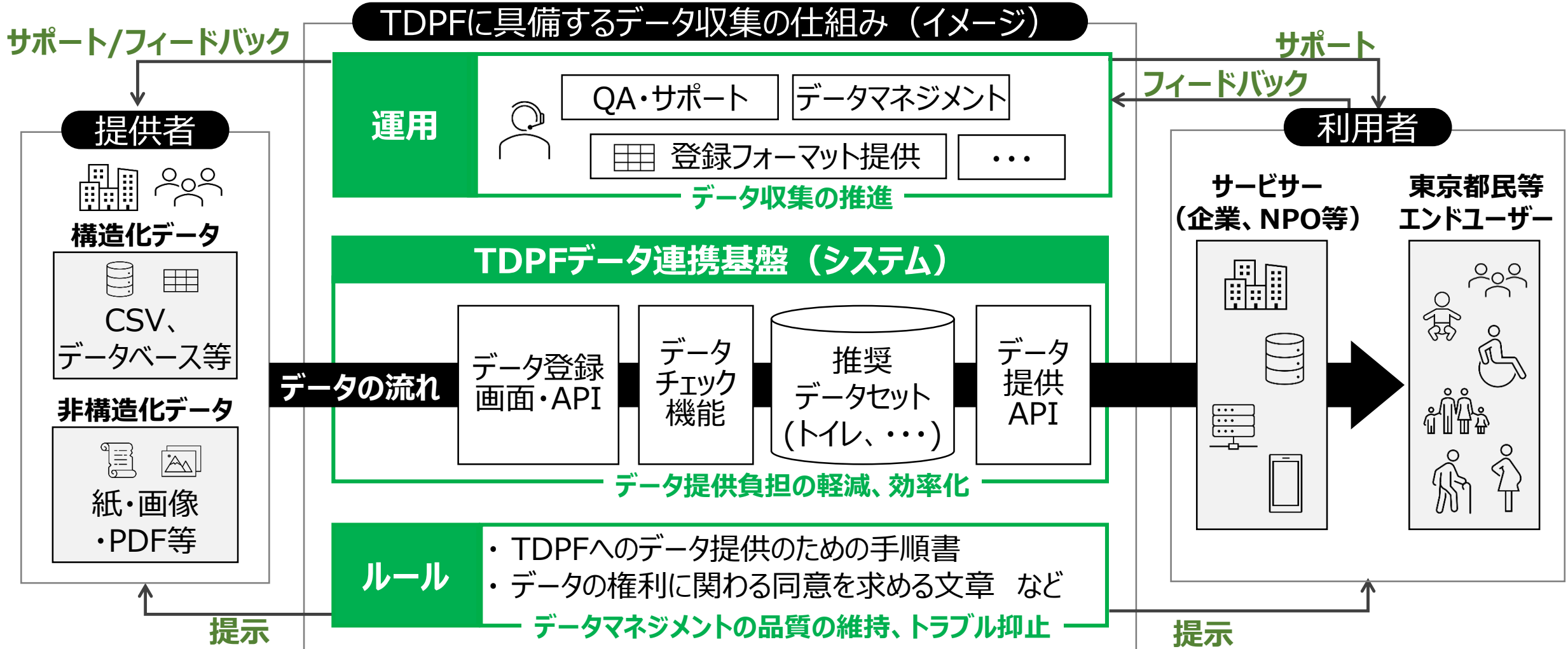
データ提供者の負担を低減しつつ、持続的なデータの収集が可能な基盤・運用のモデルを検討

- 昨年度やこれまでの取組でも**ある程度はニーズを把握**
- **TDPFが優先的に取り組むべき施設・ニーズの整理やデータを効率的に収集し、サービス実装につなげられる品揃えを目指すための展開方針が必要**

**展開すべきエリア・施設の条件を整理
新しい施設のデータ項目の検討にて考慮すべき点も整理**

活動①の目指す姿（想定）

施設系データを効率的に収集するためのTDPFに具備すべきシステム基盤・ルール・プロセス等を検討開始



活動②の目指す姿

他エリア・他施設展開に向けて、展開先の条件や、データ項目検討時に考慮すべきことを整理

展開先条件（案）

対象となる エリア・施設

ニーズ	解決したい課題が明確	「トイレ難民を救う」など、データで解決する課題が明確である
	提供者と利用者が明確	データ提供依頼先や集約後の利用者の目星がついている
	TDPFに集約する価値が明確	事業者の垣根を超えたデータ収集等のTDPFとしての意義がある
容易性	来訪者や施設数が多い	多くの利用者や提供データが見込めるエリアである
	推進協力者がいる	スマートシティ関連取組中/検討中の自治体などの協力者がいる

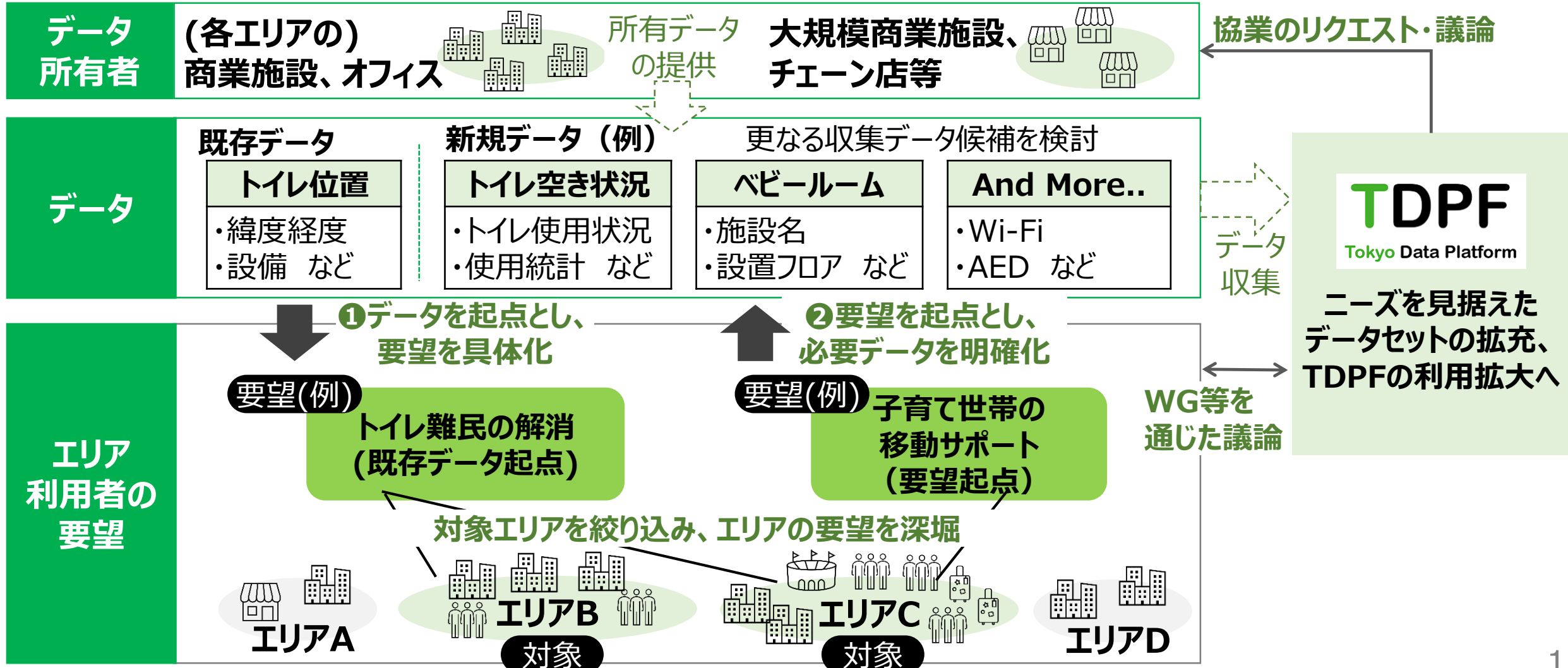
データ項目検討時に考慮すべきこと（案）

データ項目

ニーズ	展開先で必要となるデータ	ニーズを満たすデータ項目が明確であるか
運用性	TDPF共通管理項目	施設に依らず共通で持つべき項目はあるか（今後の検討効率化）
	既存データモデル	GIF(政府相互運用性フレームワーク)等のデータモデルを参照し、データ設計や連携の作業・調整作業を効率化

活動②の検討推進のイメージ

データ所有者やWG参加者と共に、データと要望の両面の検討を行い、
エリア選定・データ拡充の準備を行う



活動①のアプローチ

ヒアリングやディスカッションを通じて、課題や要求を洗い出し、TDPFに具備していく

ヒアリング・意見交換

ケーススタディ事業者、
TDPFデータ連携基盤/整備事業者等

期待 データ収集に関する知見の共有

施設データ保有者

期待 現状のデータ共有と
データ収集に関する知見の共有

ITベンダーなど

期待 データの成形・収集ツールや
方法論の共有

データ提供サービス事業者

期待 データフォーマットの実用性について
意見交換

地域データモデル、昨年の取組振り返り

結果整理

施設データ収集
システム機能を整理

施設データ収集プロセス
を整理

施設データ収集ルール
を整理

トイレデータフォーマット
のアップデート

TDPFデータ連携基盤
のシステム仕様や
運営体制などに反映

WG参加事業者を対象に実施

活動②のアプローチ

WG参加者から意見を聴取し検討を推進

活動②のインプット

アンケート調査

本WG終了後に条件（案）についてのご意見を幅広くいただく

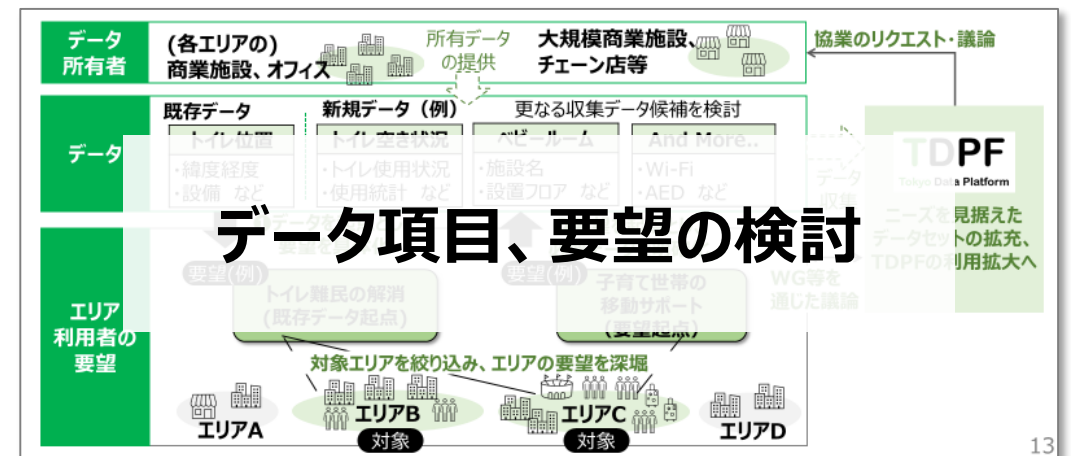
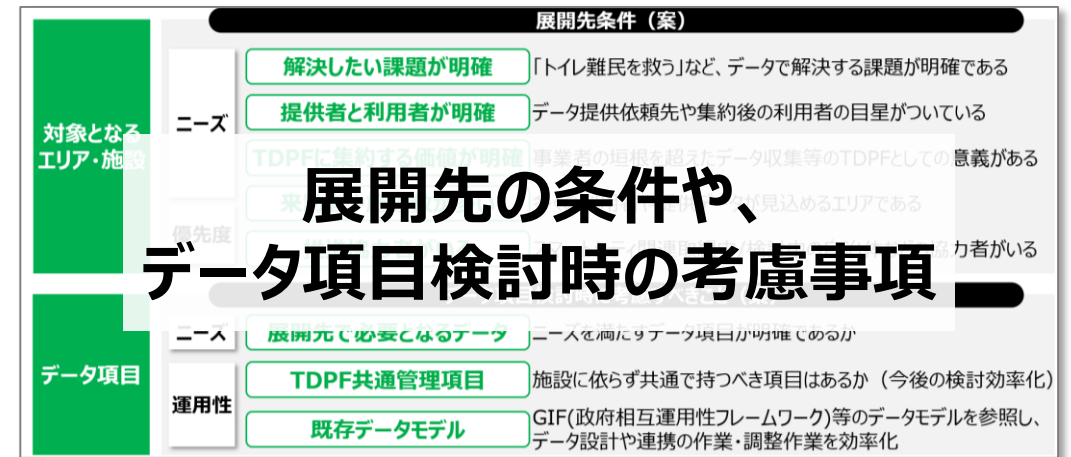
個別ヒアリング

本WGご協力企業に個別にヒアリングを実施させていただく

ディスカッション

複数企業とディスカッションを実施し多様な意見をいただく

様々な意見をいただき、検討を推進



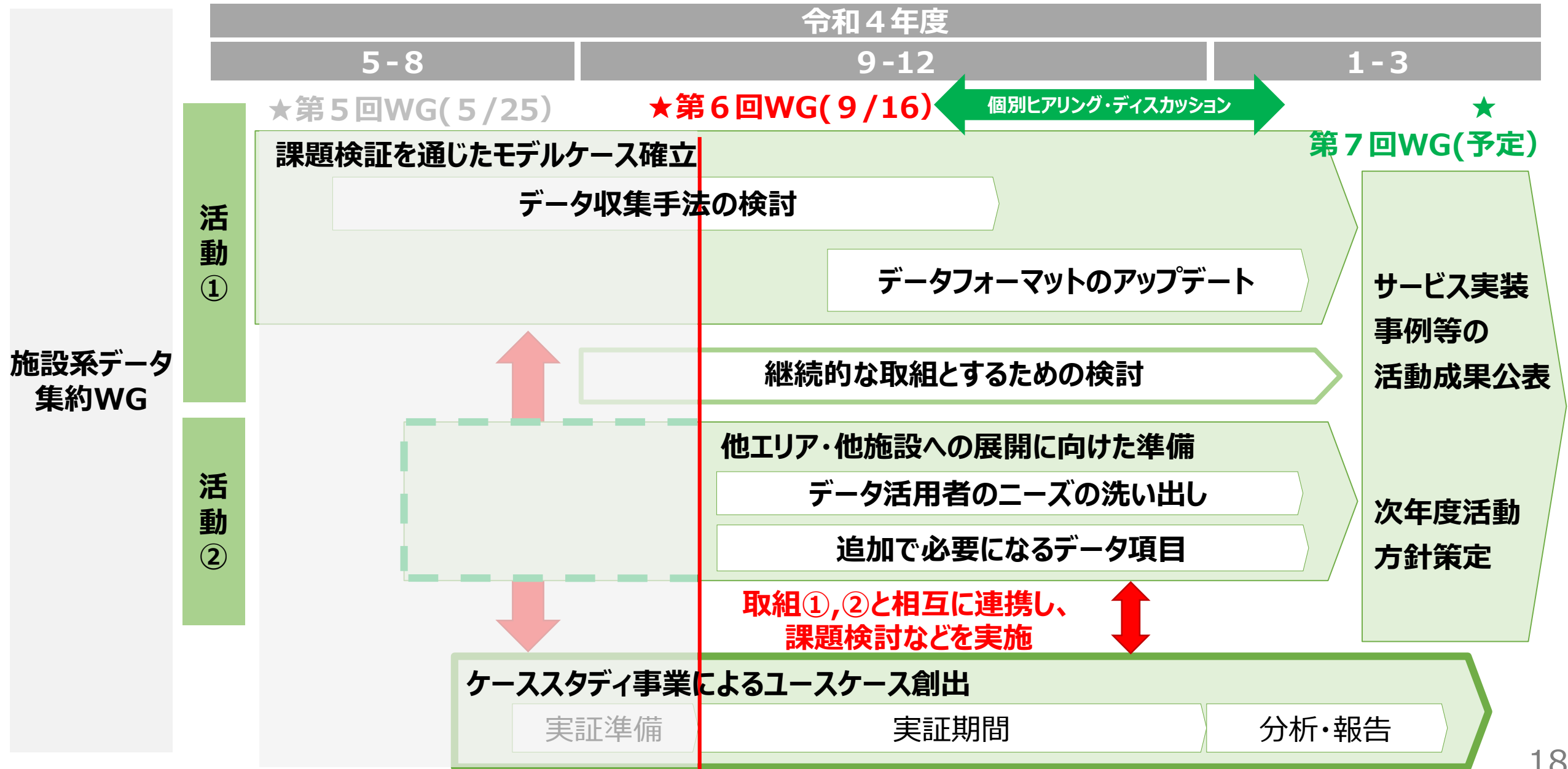
令和4年度 第6回施設系データ集約WG アジェンダ

1. 第5回施設系データ集約WG振り返り
2. 各取組課題に対する検討状況
3. ケーススタディ事業の検討内容の共有
4. 協力依頼と今後の進め方

令和4年度 第6回施設系データ集約WG アジェンダ

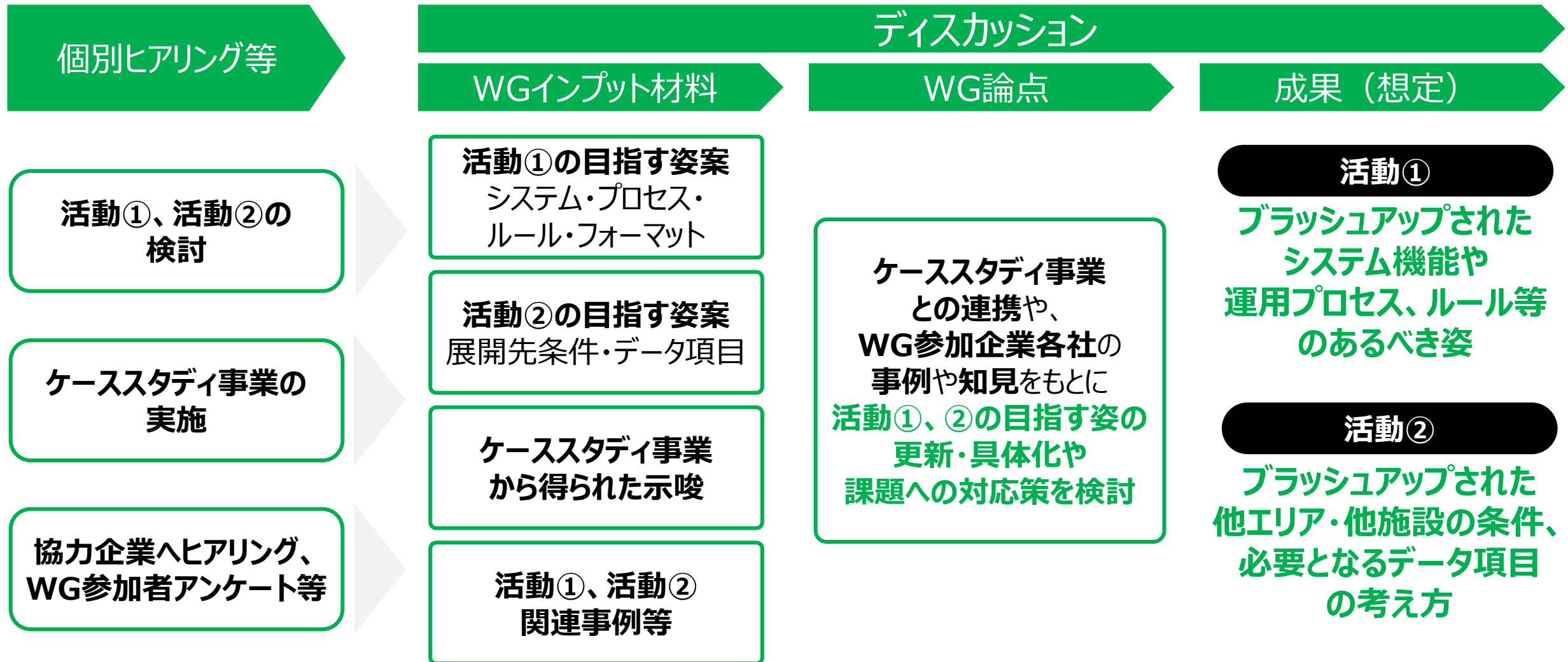
1. 第5回施設系データ集約WG振り返り
2. 各取組課題に対する検討状況
3. ケーススタディ事業の検討内容の共有
4. 協力依頼と今後の進め方

施設系データ集約WG全体スケジュール



次回施設系データ集約WGイメージ（想定）

事務局の案に対して複数企業とのディスカッション形式で意見交換



本WG参加者へのご協力依頼

個別ヒアリングや次回WGのディスカッションにご参加いただける企業は
この後依頼するアンケートにてその旨ご回答をお願いします。

こんなご経験、ご知見のある企業の参加をお待ちしております

活動① 課題検証を通じたモデルケース確立関連関連

1

データ収集・提供
に関する経験・知見

- 企業間でのデータ授受における各種のご調整や、その際工夫したご経験
- データ収集のフォーマットを検討や整備したご経験やご知見
- データ提供を行ったときに、課題と思ったこと、手間と感じたことなどがある など

2

データの成形・収集ツールや
方法論、ルールに関する経験・知見

- ツールを活用して、データの収集・整理を行ったご経験
- データ提供者に負担をできるだけ掛けないデータ収集方法のご知見
- データ連携時のルール、プロセスなどを整備したご経験、ご知見 など

活動② 他エリア・他施設への展開に向けた準備関連

3

データを活用した
ビジネスのご経験

- データサービスのビジネスの企画や提供を行ったことがあり、サービス対象地域や、サービス対象設備等の検討を行ったことがある
- データ収集の際、データ提供依頼先選定の経験や選定時の勘所がある など

TDPF事業 今後の予定について

TDPF協議会
第6回推進会議

10月
上旬

TDPF各事業の今年度取組状況や、新規WG立ち上げ検討内容の紹介などを予定

都知事杯オープンデータ・ハッカソン
Final Stage

10月12日
(水)

都のオープンデータを活用したハッカソンを開催中。「都知事杯」等を決定するFinal Stageでは、視聴者投票により決定する「オーディエンス賞」も新設。ぜひご参加ください

事務連絡

本会議終了後、アンケートを送付します。ご協力お願いいたします。

本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。皆さまのご参加お待ちしております。

Slackチャンネル構成変更のご案内

令和4年9月よりSlackのチャンネル構成を以下のように変更します。
皆様のご意見をお待ちしております。ぜひご活用ください。

	新チャンネル名	内容の説明
一般系	#01_イベント紹介・自社PR(general)	イベント情報や自社サービスに関する情報をお待ちしています。
	#02_気になる情報・雑談	技術やサービスに関する情報などを、ツイート感覚でお気軽にご投稿ください。
	#03_自己紹介	Slack未参加の皆様は、こちらにて自己紹介をお願いします。
	#04_このSlackについて	Slackの利用ルールなどを発信致しますので、お困りの際はこちらをご覧ください。
	#05_データマッチング・利活用事例紹介	「こんなデータがほしい」や「こんなデータを提供できる」といった情報をお寄せください。
	#06_オープンデータリスト	世の中にどのようなデータがあるのかを知見共有するためのチャンネルです。
	#07_デジタルツイン	デジタルツインに関する情報をお届けします。
	#99_なんでも相談チャンネル	いまさら聞けない質問と思ったものでも、受け付けます。ぜひご利用ください。
WG系	#08_WG-WG活動	WGの結果報告や進捗状況などを発信します。

ご清聴ありがとうございました
施設系データ集約WGは以上で終了となります
次のプログラムの防災データWGは13時45分から開始します

以下のQRコードがチャットに投稿したURLよりアンケートへのご回答をお願いします



※本アンケートは3WG分のアンケートです

- **ご退室される方**
ご参加されたWGの設問のみ
ご回答をお願いいたします。
- **以後のWGにも参加される方**
ご参加のWGが全て終了後に
ご回答をお願いいたします。

URL : <https://forms.office.com/r/Du1M6cfYmJ>